

< 現況分析結果の様式 (案) >

△△学部

(分析項目 I 教育活動の状況 教育 1-2)

(分析項目 II 教育成果の状況 教育 1-2)

判定結果は以下の4段階で記載。

- ・ 特筆すべき高い質にある
- ・ 高い質にある
- ・ 相応の質にある
- ・ 質の向上が求められる

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

〔判定〕 特筆すべき高い質にある

〔判断理由〕

教育活動の基本的な質を実現している。

○○○～
～
～

～の取組を実施し、△△△という優れた成果を上げている。これらの点は本研究科の教育活動が特筆すべき高い質にあることを示す。

〔優れた点〕

○ □□□～
～
～。

○ ×××～
～
～。

〔特色ある点〕

○ □□□～
～
～。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。

評価報告書では、【分析項目Ⅰ 教育活動の状況】は2ページ以内、【分析項目Ⅱ 教育成果の状況】は1ページ以内に納まることを想定しています。

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果（概要）

学部・研究科等		教育活動の状況		教育成果の状況
△△学部	【3】	高い質にある	【2】	相応の質にある
××学部	【2】	相応の質にある	【2】	相応の質にある
〇〇学部	【2】	相応の質にある	【2】	相応の質にある
◇◇◇研究科	【3】	高い質にある	【2】	相応の質にある
〇〇〇研究科	【2】	相応の質にある	【2】	相応の質にある
×××研究科	【2】	相応の質にある	【2】	相応の質にある

< 現況分析結果の様式（案） >

△△学部・◇◇研究科

（ 分析項目Ⅰ 研究活動の状況 …………… 研究 1-2 ）

（ 分析項目Ⅱ 研究成果の状況 …………… 研究 1-2 ）

判定結果は以下の4段階で記載。

- ・特筆すべき高い質にある
- ・高い質にある
- ・相応の質にある
- ・質の向上が求められる

分析項目Ⅰ 研究活動の状況

〔判定〕 特筆すべき高い質にある

〔判断理由〕

研究活動の基本的な質を実現している。

○○○～
～
～

～の取組を実施し、△△△という優れた成果を上げている。これらの点は本学部・研究科の研究活動が特筆すべき高い質にあることを示す。

〔優れた点〕

○ □□□～
～
～。

○ ×××～
～
～。

〔特色ある点〕

○ □□□～
～
～。

分析項目Ⅱ 研究成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

学術的に卓越している研究業績、社会・経済・文化的に卓越している研究業績が、それぞれ、XX 件、YY 件との評価を受けており、現況分析単位の目的・規模等を勘案し、相応の質にあると判断した。

評価報告書では、【分析項目Ⅰ 研究活動の状況】は2ページ以内、【分析項目Ⅱ 研究成果の状況】は1ページ以内に納まることを想定しています。

学部・研究科等の研究に関する現況分析結果（概要）

学部・研究科等		研究活動の状況		研究成果の状況
△△学部	【3】	高い質にある	【2】	相応の質にある
××学部	【2】	相応の質にある	【2】	相応の質にある
〇〇学部	【2】	相応の質にある	【2】	相応の質にある
◇◇◇研究科	【3】	高い質にある	【2】	相応の質にある
〇〇〇研究科	【2】	相応の質にある	【2】	相応の質にある
×××研究科	【2】	相応の質にある	【2】	相応の質にある